

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎6550）までお知らせください。皆さんの情報をお待ちしています!!

元気な声で「アニョハセヨ！」

韓国語講座が開講されました

日野町国際親善協会による韓国語講座が開講されました。これは、日野町の姉都市である韓国・恩山面との交流を目的に、毎年開催されているもので、全5回の初心者向けの講座です。

1月21日(月)、わたむきホール虹において第一回目の講座が行われ、21名が受講されました。講師の馬場平三郎さんは、韓国語の発音や表記だけでなく、韓国の文化や生活習慣なども交えて、和やかな雰囲気で講義されました。

受講生たちは、熱心にメモを取りながら、馬場先生の話に聞き入り、時には先生の冗談に笑いながら、楽しく学ばれていました。



▲「まちがってもいいから、自信をもって大きな声で」と指導する馬場先生

ごみを正しく分別しましょう

湖南サンライズのごみ集積所が新しく

湖南サンライズ自治会では、新しいごみ集積所を設置されました。この集積所は、様々な分別に対応できるように大容量（幅9・3m×奥行1・9m、高さ2・2m）になっています。

また、ごみ集積所に設置されているタンクは、屋根から流れる雨水を溜める構造になっていて、雨水を利用して清掃できるように工夫されています。環境に配慮した集積所の設置で、より一層地域におけるごみの分別の意識が高まることでしょうか。



▶ 雨水の利用ができるごみ集積所

みんなで地球環境を考えよう

必佐小学校で地球温暖化を学ぶ出前授業

1月23日(水)、必佐小学校6年生58名を対象に、シャープ(株)とNPO法人気象キャスターネットワーク主催による環境の出前授業が行われました。

NHK大津放送局キャスターで天気予報士の岡田亜子さんが、地球温暖化の原因となる二酸化炭素について説明し、省エネルギー生活の実践を呼び掛けられました。また、シャープ(株)環境社会貢献部の有馬優香さんが、リサイクル工場の様子を紹介し、「ごみを分別すること」の大切さを訴えられました。

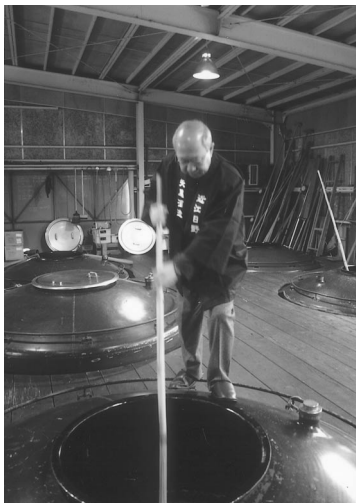
二酸化炭素と気温上昇の関連を示す実験などもあり、児童たちが地球環境を考える機会となりました。

▶ 実験を見つめる児童たち





まちのわだい



▲矢尾孝司さん（受賞した鈴正宗を手に）

日野の地酒「鈴正宗」が優秀賞に
大阪国税局清酒鑑評会で受賞
平成19年度大阪国税局清酒鑑評会において、中在寺の矢尾酒造(株)の鈴正宗が「燗酒用清酒の部」の優秀賞に選ばれました。
矢尾酒造7代目・矢尾孝司やお ながし代表取締役は、「酒造りはすべてが難しい。手を抜かずの一つひとつをきちんと行い、100点に近づけるようにやっていく。同じ値段でもよりいいものを、日野の皆さんに喜んでもらえるような美味しいお酒を造ってきたい」とお話しくださいました。
受賞おめでとうございます。



▶音楽に合わせて身体を動かします

筋力アップで生き生きと
鎌掛地区「おたっしや教室」開催
2月6日(水)、鎌掛公民館ホールにおいて「おたっしや教室」が開催され、鎌掛地区の60、70歳代の14名が参加されました。この教室は、筋力をつけることを目的に月2回行われ、講師の指導の下、毎回楽しく運動されています。
ストレッチなどで十分に身体をほぐした後、講師の動きを手本に音楽に合わせて足を前後左右に動かします。椅子を使った運動もあり、両足の屈伸、かかとの上げ下げなど、主に下半身の筋力を強化するトレーニングが行われました。
講師の吉澤正義よしざわ まさよしさん(67歳)は、「身体を支える筋力を鍛えることで、体力を維持し、強化することができます。病気や転倒を予防するためにも、運動を日常化してもらえよう、家で自分で出来る運動を紹介しています」と運動を続けることが大切だとおっしゃっていました。
参加者からは、「身体がほぐれます。ふだん仕事で動かしていると思っていましたが、使っている所が違うのか、毎回少し筋肉痛になります」、「ひざを痛めて治療していましたが、ひざが曲がるようになりました。家で自主トレーニングする際、先生のアドバイスが役に立っています」など、運動の効果を実感する声が聞かれました。